

オイルレス・エアークンプレッサー

品番【52001】【52003】【52006】
【52009】【52011】【52013】

目次

- エアツールの接続方法
- 圧カスイッチ
- 圧カ設定方法
- 注意事項



※連続使用で吹き付け作業を行う場合は、使用環境によって使用時間が異なります。
定期的にモーターを触って、熱くなっていないか注意してご使用ください。

使用方法

1. エアツールの接続方法

A



B



ご使用前に（AC100V）のコンセントに本製品の電源プラグを差し込みます。

※スイッチが切れていることを確かめます。スイッチが入ったまま、電源プラグをコンセントに差し込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。電源コードの上にあるスイッチは下を押すとON、上に押すとOFFになります。

(A) エアホースとエアブラシ(エアツール)をコンプレッサーに接続します。

※エアツールが接続されていない状態では、オートスイッチが機能しないため常時運転することで、焼き付けの原因となることがございますので、ご注意ください。

(B) 作動スイッチをONにするとモーターが始動し、コンプレッサー内に空気を溜めていきます。

※タンク付き場合、排出バルブが閉まっているかご確認ください。

2. 圧カスイッチの説明

(C) コンプレッサー内の圧カが、4kgf/cm²

になるとオート圧カスイッチが作動し

モーターが停止します。

コンプレッサー内の圧カが3kgf/cm²まで

下がるとモーターが再度始動します。

C



3. 圧力の設定方法

圧力調整つまみを上に引き上げ
時計回りに調整すると設定圧力が高くなり
反時計回りに調整すると設定圧力が低く
なります。
圧力調整後、調整つまみを下に押し下げ
固定してください。

調整つまみ



※4kgf/cm²以上荷圧力は設定できません。

設定つまみの回し過ぎに注意

※レギュレーターのおまみは時計回り(プラス側)と反時計回り(マイナス側)になっております。
4bar以上は上がりませんので、回し過ぎにはご注意ください。
※回し過ぎた場合には、一旦(左回し)0点まで戻してから再度調整を行ってください。

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください

- ⚠️ ※連続作業した場合、本体が熱くならないように、作業時間を守ってお使いください。
- ⚠️ ※長時間使用で本体が熱くなった場合には、しばらく冷やしてからお使いください。
- ⚠️ ※長期間使用しているとタンクやレギュレーター内に水分が溜まりますので、定期的にメンテナンスをおこなってください。
- ⚠️ ※使用後は、タンク下部のバルブを緩めて、エアーを排出してから保管してください。
- ⚠️ ※商品を使用する際は、平坦な場所でご使用ください。
- ⚠️ ※自動車や二輪車の空気入れとしては、ご使用できません。
- ⚠️ ※分解整備は行わないで下さい。保障対象外になります。
- ⚠️ ※連続使用で空気を放出したまま放置するとモーターから発火し火災になる恐れがございます十分注意してください。
- ⚠️ ※修理や改造を絶対しない。
- ⚠️ ※交流100V以外での使用はしない。漏電・感電・火災などの原因になる。
- ⚠️ ※次の場所や屋外では使用しない。
感電、ショート、および火災、爆発の恐れがある。また、事故や故障の原因になる。
- ⚠️ ※火気の近く・雨や水しぶきのかかる場所・温度の高い(40℃を超える)場所・湿度の高い(80%を超える)場所。
- ⚠️ ※油や油煙が製品に直接かかる場所・ガスや蒸気、化学物質などの爆発性粉じんが発生する場所。
灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、塗料など引火性のものがある場所。
- ⚠️ ※電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。
電源コードが破損し、火災や感電の原因になる。